

♪きっと明日は いい天気 きっと明日は いい天気
(9年生を送る会より 1年生から9年生へ)

校長 桑野 啓子

学園だより3月号をお届けする時期を迎えました。3月9日には、校区青少年を守る会さんが「校区たんけん」を予定してくださっています。学園生だけではなく、地域の方々、就学前の子どもたちにもご案内してくださっていますので、ゴールの学園に到着されて、「次の4月に入学します。」等々、お声かけいただくことも嬉しいものです。当日は、地域の方々が校区の様々なポイントに立ってください、子どもたちを見守ってください。また毎年縦割り班で校区にでる5～8年の「つながりオリエンテーリング」の際にも多くのおみなさんが見守りをしてくださっています。1600名ほどのこの大きな学園は、「つながり」を最も大切にしています。いつも保護者のみなさん地域のみなさんが学園に寄せてくださるあたたかいお気持ちを支えに、大きいからできないと嘆くだけではなく、大きいけれども工夫をして、大きいからこそできること・・・を模索し続ける彩都の丘学園でありたいです。

さて、学園では2月の終わりから「9年生卒業おめでとう装飾」を校内で展開しています。また2月28日には体育館で1～8年のみんなで3ローテーションで「9年生を送る会」を行いました。9年生はそのつど「旅立ちの日に」を合唱しました。「学園のリーダー！」体育館中に響き渡る9年生の素晴らしい歌声にすべての学年が圧倒されました。1年から8年のパフォーマンスも工夫に満ちていました。「9年生のみなさん、今までありがとうございます。」「また遊びに来てください。」「おめでとう、ありがとう」「愛と仲間とのつながりを大切に」等々、心を込めた在校生からのメッセージが体育館内にあふれました。タイトルは1年が披露した「にじ」の歌詞の一部です。「ラララ にじがにじが 空にかかって きみのきみの 気分もはれて きっと明日はいい天気 きっと明日はいい天気（作詞：新沢としひこ 作曲：中川ひろたか）と手話を交えて「きっとあしたはいいてんき♪」と9年生にエールを贈りました。3年生が突如出したクイズに臨機応変に答えたり、「どっこいしょどっこいしょ」「ソーランソーラン」の大きな声をお願いしますとの5年生からのお願いに、ひな段から大きな声をだす9年生は「学園の頼もしいリーダー」でした。また8年生は次期リーダーにふさわしい心のこもった素晴らしいハーモニーの「空も飛べるはず」合唱を披露しました。そして3月14日は、9年生13期生の卒業証書授与式です。

「9年生を送る会」をごらんいただいた後の学校協議会では、「小中一貫校の良さが凝縮された時間でした。」「あこがれの9年生の姿がありました。」等のお話を伺いました。ありがとうございました。2023年度締めくくりと2024年度への準備として、だれにとっても有意義な3月にしたいと思います。これからも彩都の丘学園は、子どもたちそれぞれのもちあじと輝きを、学年の横のつながりを、そして9学年の縦のつながりを大切に参ります。みなさんのご理解とご協力を賜りますよう、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます